

規格会議 VISIONと今後の方針

VISION

超スマート モビリティ社会の実現に向けて

事故ゼロ・環境負荷ゼロ・移動の無駄ゼロ・自由な移動と高効率物流確保等による
豊かなモビリティ社会実現に資する戦略的標準化で世界をリードする。

今後の方針

- ① 国が目指すSociety5.0を見据え、Industry4.0対応、AIやビッグデータの利活用等の対応が進み、新たなサービス、マネジメント、社会システムの実現に資する標準化に取り組む
- ② 戦略企画機能強化
 - ・戦略企画WG設置
 - ・新たな国際標準化長期計画（TC22とTC204）
 - ・超スマートモビリティ・社会システム標準化検討会設置
- ③ 標準推進機能の強化
 - ・国際会議貢献ポスト、委員要件設定など
 - ・情報共有DB提供、国際標準化支援WG設置など
- ④ 外部連携強化
 - ・技術・地域毎連携マッピング作成
 - ・新しい分野の関連団体と連携など

規格会議ロードマップ

		2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
技術動向	電動化	導入	拡大			成熟		
	自動運転		導入	拡大		成熟		
ICT		知能化・コネクテッドの進展 → 新価値・新サービス・新ビジネスの創出と拡大						
基本方針		事故ゼロ・環境負荷ゼロ・移動の無駄ゼロ・自由な移動と高効率物流確保等による豊かなモビリティ社会実現に資する戦略的標準化で世界をリードする。						
標準化重点課題		自動運転、電動化、ICT(知能化・コネクテッド)分野の戦略的国際標準化・JIS/JASO化モノの標準化からシステム標準化へ						
		Society5.0(超スマート社会)を見据えた標準化の推進(サービス、マネジメント、社会システム等の標準化) Industry4.0対応、AI・ビッグデータの利活用、リアルデータプラットフォーム対応、等						
戦略企画機能強化		市場獲得・競争力強化に資する国際標準化をリード		新分野の市場創出・拡大に向けたルール形成のための標準化活動をリード				
		<ul style="list-style-type: none"> ●(18~)戦略企画WG設置#1(JAMA、METIと連携) ●(20~)新たな国際標準化長期計画構築#1(TC22・TC204一体化、JASOの在り方) ●戦略企画WG設置#2(他業界連携) ●新たな国際標準化長期計画構築#2(他業界と一体化) 						
標準化推進機能強化		スピーディな国際標準作成		サービス、マネージメント、社会システム標準作成機能強化				
人材育成		<ul style="list-style-type: none"> ●(18~)国際会議貢献ポスト、委員要件設定#1 ●国際会議貢献ポスト、委員要件設定#2(サービス、システム標準対応) ●(19~)プロフェッショナル育成新プログラム#1 ●プロフェッショナル育成新プログラム#2(サービス、システム標準対応) 						
支援機能		<ul style="list-style-type: none"> ●(18~)情報共有DB提供 ●AI活用(ドラフティングツール導入等) ●(19~)国際標準化支援WG設置#1 ●国際標準化支援WG設置#2(サービス、システム標準対応) 						
外部連携強化		国内・国際連携の強化		超スマートモビリティ・社会実現に向けた国際標準化体制の再構築				
		<ul style="list-style-type: none"> ●(18~)技術・地域毎連携マッピング作成#1 ●技術・地域毎連携マッピング作成#2(新分野対応)(VDA、SAE、BNA、CATARC等) ●新しい分野の関連団体と連携(電気通信、インフラ、エネルギー、コンピュータ等) ●新分野との連携対応戦略(制度、規制、知財等) 						

超スマート
モビリティ・社会